



カトリック八尾教会ニュース 2022年5月

【今月の予定】

*4/30(土) 堅信式勉強会
 1日(日) 復活節第3主日
 8日(日) 復活節第4主日
 L世界召命祈願の日
 15日(日) 復活節第5主日
 ベトナム語のミサ
 22日(日) 復活節第6主日
 L世界広報の日
 29日(日・祭) 主の昇天

【ミサの時間】

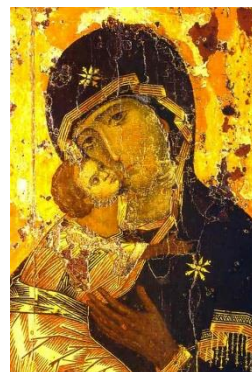
9:00
 9:00
 11:00
 11:00
 15:00
 9:00
 11:00
 10:00

【聖母月】

Tháng năm

18:30~(八尾教会にて)

①グループ(A地区+ベトナム1)
 ②グループ(B地区+ベトナム2)
 ③グループ(C地区+ベトナム3)
 小教区評議会(13:00~)
 ①グループ(A地区+ベトナム1)
 ③グループ(C地区+ベトナム3)
 ②グループ(B地区+ベトナム2)
 子ども会



堅信式勉強会のお知らせ

ブロック合同堅信式(6月12日)の勉強会が始まります。対象者の方はご参加ください。

【日程】①4月30日(土)②5月7日(土)③5月28日(土)④6月4日(土)⑤6月11日(土)

【時間】18:30~21:00

【場所】八尾教会

※詳細は別途連絡

『少年』

ベネディクト 崔 周永 神父

少年は気になって仕方ありませんでした。自分以外の国々の、同い年の子供たちはどんな風にならなにか、と。小さくて体の弱かった少年は、自分はこの地球ではなく、他の星で生まれ、ここに流されてきたかと思っていました。勉強に興味は全然なかった少年は、中学生になった時、勉強に精を出すようになりました。こう思ったのです。「この世の中は、勉強ができる人に有利なんだ」と。もう既に、中学一年生が終りかけた時には、自分はよく勉強ができると自慢する少年になっていました。勉強ばかりやっていた中学生時代、しかし、少年は高校にあがった頃から、疑問を抱くようになりました。「何で、一番いい大学を目指して勉強ばかりせなあかんのか」と。大人達の価値観に、薄々と少年は、「違う」と思ったのです。

うんざりだった受験勉強が終わって、ソウルにある大学に入学しましたが、遊びばかりの初年度と二年生を終え、軍隊に入りました。韓国は徴兵制の国で、成人した男は軍隊に行くのですから。訓練所での辛い6週間の後、自隊に配属されて行ってみたら、何と、DMZ、つまり、北朝鮮との国境辺りの部隊でした。南出身の少年は、厳しい寒さにうろたえていましたが、無事に2年4

かげつはん へいえき お だいがく もど ねんせい はる とうじつ あ かのじょ こうしゅうでんわ
カ月半の兵役を終え、大学に戻りました。3年生のある春、当時付き合っていた彼女に、公衆電話
はな あ よる そら ぜんぜんちが ほし よぞら しょうねん
で話し合っていたある夜、ソウルのどんよりした空と全然違う、星でいっぱい夜空が、少年の
あたま お しょうねん しん いま かみさま せんざい
頭のとっぺんまで下りてきました。とっさに、少年は、「信じれないだろうが、今、神様の存在
かん せんれい う かよ だいがく かい だいがく せんれいじゅんび
を感じる。わし、洗礼を受ける！」と。通っていた大学は、イエズス会の大学だったため、洗礼準備
コースがあり、そこで勉強し、その年の11月に洗礼を受けました。洗礼名はベネディクト
(Benedict)。幸せな人になれ、と、信者の彼女が選んでくれました。しかし、少年はまだ幸せだ
かん ほとん じんせい もくてき じぶん とう ついきゅう けっか
と感じることは殆どなかったのです。人生の目的、自分のアイデンティティー等を追求した結果、
しゅうどうかい はい しゅうどうせいかつ はじ きび しゅうれんき へ はつせいがん たて とき かんどう いま
ある修道会に入り、修道生活を始めました。厳しい修練期を経て、初誓願を立てた時の感動は今
わす
も忘れられません。

しかし、まだ少年は腑に落ちないことがありました。修道者にはなったものの、別に幸せだと
しょうねん ふ お しゅうどうしゃ べつ しあわ
は感じなかったのです。体に合わない服を着ている感じでした。子どもの頃から弱かった少年
かん からだ あ ふく き かん こども ころ よわ しょうねん
は、33歳の時、大腸がんにかかりました。外科手術、抗がん剤治療、3年間の薬の服用で、体
さい とき だいちょう げ かしゅじゅつ こう ざいちりょう 3ねんかん くすり ふくよう からだ
はぼろぼろになり、修道生活が自分には向いてないことがよく分かりました。修道会を出て、実家
しゅうどうせいかつ じぶん む しゅうどうかい でて じっか
に戻り、静養の3年間を過ごし、働き出しました。そして、たまたま出会った司祭の紹介で大阪教
もど せいよう 3ねんかん す はたら だ で あ しさい しょうかい おおさかきょう
区の神学生候補者として、大阪に来ることが出来ました。2010年1月でした。1年間の日本語の
く しんがくせいこうほしや おおさか く で き ねん1がつ 1ねんかん にほんご
勉強、神学校入学、2016年3月叙階、玉造教会で1年間司牧、2017年から2021年5月までロー
べんきょう かみがっこうにゆうがく ねん3がつじょかい たまつくりきょうかい 1ねんかんしぼく ねん ねん がつ
マ留学、返ってきて、去年11月から教区事務局で働き、今に至った少年は、もう少年ではなくな
りゅうがく かね きょねん がつ きょうくじむきょく はたら いま いた しょうねん しょうねん
りましたが、子どもの頃、気になっていたことがようやく分かりました。世界の子供たちも、自分
こ ころ き せかい こども じぶん
のように苦労しながら大人になり、彼らなりの人生を過ごしていることを。ローマで出会った、
アフリカ人、ヨーロッパ人、北アメリカ人、南アメリカ人、アジア人等。大人だった彼らとの出会い
じん じん じん きた じん みなみ じん じんなど おとな かれ であ
を通して、少年ははっきり感じたのです。彼らの中にある神様を、彼らの中の痛みや希望を！

このように、少年は遠くまで行ってみましたが、なおもっと遠い所に行ってみたいと思っ
しょうねん とお い おお ところ い おも
ています。それは、人間の心という遠い所です。この幸せな少年の旅に、付き合ってくださいませんか。
にんげん こころ とおいところ しあわ しょうねん たび つきあ
どうぞよろしくお願いいたします。 主のご復活、おめでとございます。

